

スペース・エム通信



No.44

企業の活動が、開発行為や商取引によって生物多様性の減少の原因を作ることが多々あります。国際的に生物多様性の保全の重要性が叫ばれるなか、企業にとり環境問題への取組を無視することは出来ません。欧米の先進的な企業や、環境団体、投資家からの激しい批判をあげて、これからは持続的な社会にむけて前向きな努力を示すことが企業の存続に不可欠となります。

＝ ミニ辞典 ＝

「エシカル消費」

エシカル (ethical) とは、倫理的、道徳的という意味で法律などの縛りがなくても誰もが正しい、公平だと思っている事を示します。また環境保全や社会貢献という意味合いがあります。商品を購入するとき、環境や社会問題の解決になる物を購入し、そうでないものは購入しないという消費行動をエシカル消費といいます。(オーガニック、フェアトレード製品を選択するなど)

生態系保全、生物多様性保全、気候変動、エネルギー対策、省エネ、再生可能エネルギーの選択などに貢献することによって環境問題を解決し、大きなリスクを回避することができればSDGsの達成を一步進められることでしょう。



八王子市打越町344-14  
京王北野マンションA-106  
TEL 042-644-6206  
FAX 042-644-6279  
http://www.space-m.jp



## コロナ禍から何を考える

### …暮らしのなかで何が変えられるか



新型コロナウイルスの感染の拡大は、終息の見えない今も世界に多くの犠牲者をだし続け、社会的な被害、経済的な損失も計り知れないほど広がり、人々は不安の中目に見えないウイルスと日々過ごさねばなりません。

現代社会の発展は新しいウイルスの出現、又は再出現に関わりながら進歩しています。日常的に野生動物と共生していたウイルスが環境や生態系の変化などが原因で突然高い感染率を示す未知のウイルスに変化することはエボラ出血熱、マーズ、サーズ、エイズ等と示されています。

元来、自然環境の中で野生動物は人と棲み分けられた地域にのみ発生していたウイルスの感染が、人間の無秩序な開発、開墾により野生動物の生態環境を奪い人との距離が近くより人に感染、グローバル化による人の往来のスピード化で世界中に広がる事態になりました

地球温暖化、多発する森林火災 洪水、干ばつ 見えないウイルスの脅威などどのように共生できるのか。このコロナ禍は私たちの暮らし方を見直さざるを得ない危機ととらえ直す転換点になるでしょう。



SDGs のバッジ

そして、今後、私たちは全世界で取り組まなければならない重要課題として国連で採択された2050年を目標とした持続可能性社会を構築する開発目標SDGs「未来を変える17の目標と169の指針」に沿って、途上国、先進国の別なく人類の目指す方向として捉え実現に向かうべきでしょう。

全ての政策や意思決定の中で環境への配慮を主流にとらえ、抜本的な政策転換を進める以外に解決できないと世界中に認識を訴え実行していく必要があります。



日本でも自治体、大企業、中小の企業、スーパー、コンビニ、メディア等が持続可能な開発目標SDGsの図に示される目標と指標にそれぞれ対応した取り組みを始めました。建築業界においても人々の生活の基盤である住環境の提供やまちづくり、経済活動の基盤であるインフラ構築、整備、防災、衛生、省エネルギー、環境保護など、SDGsに直結する業界であり17の目標のあらゆる局面に大きく関わり、影響力があります。

当社も20年前から持続可能な自然素材を多く採用し健康的な住まい作りをご提案しています。

私たちは、人ごとではなく、微力であってもライフスタイルを見つめ、自然との共生、必要以上の物が生産され、余れば廃棄する経済システムを反省し、今ある脅威、気候変動、感染症等を子供たちと共に学びましょう。

## スペース・エムの事業内容

自然素材々々用いた住み心地の良い住まいづくりもご提案しております



新築/リフォーム工事/キッチン・浴室・トイレ等水廻りの改修工事/内装工事/造作家具製作/省エネサッシ取替え工事/介護保険の住宅改修工事(手すり、段差解消など)



どんな工事でもお気軽にご相談下さい(お見積り無料)



TEL ・ 042-644-6206  
E-mail ・ space-m@d4.dion.ne.jp までどうぞ(日祝日を除く9:00AM~6:00PM)

